

久米島の未来を紡ぐサステナブルツーリズムへ

3月3日(日) ほんのり多目的室にて、第3次観光振興基本計画策定発信シンポジウムを開催致しました。シンポジウムでは、計画策定の背景や経過、第3次計画案の紹介を行い、基調講演では株式会社Endemic Garden H代表取締役の仲本いつ美氏より「やんばるホテル南溟森室がいざなう本物の沖縄」と題し、世界自然遺産として登録されたやんばるにおける高質な観光の提供や地域を守り未来に引き継ぐための観光の在り方、住民と観光客、ガイドの関り方についてお話をされました。

後半は「観光地域づくりプレゼン大会」を行い、観光事業者の取り組みや今後の久米島観光について、発表がありました。プレゼンターの久米島商工会青年部副部長の久米島とりっふ 代表の中島悠希さんは、「移住して10年、島の方々からの困りごとを聞けることができ嬉しい。この困りごとを観光と結び付け解決に繋げていきたい。皆さんと一緒に楽しみながら稼げる観光まちづくりをしていきたい。」とプレゼンされました。プレゼンコーディネーターの沖縄ITイノベーション戦略センター(ISCO) 専務理事の山田一誠氏より、「身近にあるもので体験ができることはすごいこと。久米島のコンテンツが幅広くなる」と評価されました。

第3次観光振興基本計画では「持続可能な島の未来をつくる 共創ツーリズム-島の宝を紡ぎ 島民と来島者が共創して島の未来を育む」を基本理念として、観光客数や消費額を短期的に追うのではなく、観光客との関係性を深め、交流や協働を通じて島民も観光客も元気になる、久米島の持続可能な成長を目指します。

「観光地域づくりプレゼン大会」プレゼンター

一般社団法人久米島町観光協会・一般社団法人くめじまDMO・NPO法人久米島ホテルの会・リゾートハウスみなみ・久米島商工会青年部(久米島とりっふ)



第3次久米島町観光振興基本計画は、町ホームページにて公開しています。



2023年度久米島野球合宿が実施されました

令和6年2月1日から始まった、東北楽天ゴールデンイーグルスの久米島キャンプに続き、社会人・大学野球部6チームが順次来島し、恒例の久米島合宿が実施されました。合宿期間中は練習試合が2試合開催され、各チームとも所属リーグでの飛躍に向けハードな練習をこなし、充実した合宿となりました。今回合宿を行ったチームには、次回ドラフト候補も所属しており、将来、プロでの活躍が期待されています。なお、社会人・大学野球合宿は、スポーツツーリズムの一環として受け入れており、閑散期における入域客増加に大きな効果をもたらしています。

2024年度野球合宿実施チーム	人数	合宿期間
Honda 鈴鹿硬式野球部	42名	2/21～28
日本体育大学硬式野球部	62名	2/14～20
中央学院大学硬式野球部	70名	2/19～3/1
愛知学院大学硬式野球部	100名	2/29～3/7
名城大学準硬式野球部	51名	3/6～12
鶴見大学硬式野球部	70名	3/15～22